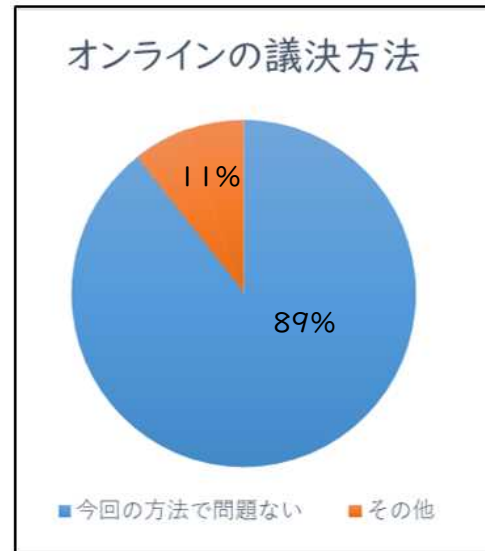
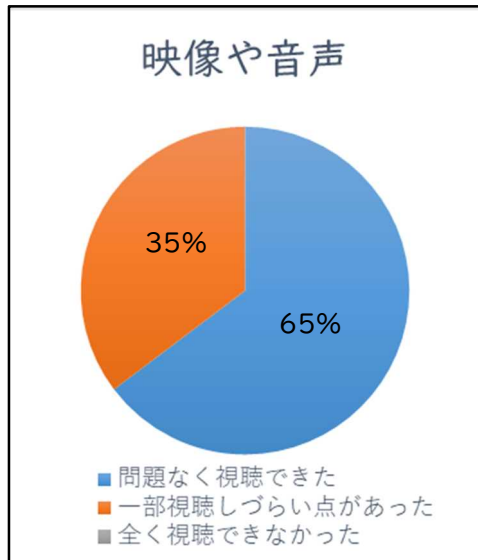


第1回評議員会および研修会① アンケート結果

研修会の平均評価：3.45/5



映像や音声について

- 今回評議員会を実施し、事務局としても、Zoom ミーティングによる配信と参集型での評議員会運営について、見直しと改善が必要だと感じております。よりスムーズな運営になるよう努めて参ります。

オンラインの議決方法について

【その他】

○質問は受けた方がいいと思います。

○良かったとは思いますが、質問や意見をいう時間がなかったので、疑問を残したまま決定するのは難しかったです。会議の時間が短かったからだと思います。

《回答》

- スケジュールがタイトであり、質問や意見を受け付ける時間を確保できなかった点につきまして、また、役員の皆さまが決議の進捗を確認しづらい状況にありましたこと大変申し訳ありませんでした。評議員会の進め方や議決方法について再度見直し、改善していきたいと思います。今回の評議員会での決議につきましては、総会で再度提案しますので、承認いただければと存じます。

評議員会の運営について(一部のみ)

○運営おつかれさまでした。本校からの分科会での提案者はすでに決めていて、昨年度の実践について少しずつまとめ始めています。ただ、今回決議された分科会テーマに沿った内容になっているか不安です。「テーマに沿っていない」と受理されないのではないかと…。

《回答》

●テーマに沿っていないからといって、報告書の書き直しは依頼いたしません。また、テーマについてはあくまで研究協議や指導助言の柱として設定しております。テーマについて、各勤務校での現状や提案者のご意見をまとめておいていただくと研究協議の際に議論が深まるかと思えます。よろしくお願ひします。

○小中への事務局移行の件は、しっかりした審議が必要です。小中の現状をご理解ください。

《回答》

●事務局として小・中学校の現状については承知しておりますが、今後の運営のあり方を考えていくうえでも、小・中学校の現状を具体的にお伝えいただけますと幸いです。事務局運営には校種間の密な連携が不可欠になっており、その現状を踏まえて協議の上で判断すべきと考えます。小・中学校と特別支援学校、それぞれの現状を理解したうえで、沖特研運営に関しまして、両校種間において協力して進めていけたらと思っております。事務局として、現時点では次年度以降、特別支援学校が事務局として運営し、事務局校近辺の支部に研究大会の運営等に携わっていただけないか検討しているところです。今後、評議員会等の中で協議できればと思ひますが、ご意見等ありましたら事務局までご連絡いただけますと幸いです。

○那覇地区小中合併については、それぞれの研究会での審議も必要です。

《回答》

●評議員会の中で十分に協議する時間を設定できず、申し訳ありませんでした。この件に関しましては、今後、関係する支部のご意見を伺いながら協議を重ねて参りたいと思ひます。十分に協議を重ねて、組織体制を構築していきたいと思ひます。組織再編が決定するまでは、現行どおりの運営で進めて参りますのでご了承下さい。

○研修の内容がとても良かったので、できればこちらでも質疑応答の時間を作れると理解が深まってより良かったです。

《回答》

●時間の都合上どうしても質疑応答の時間がもてず、申し訳ありませんでした。今後、研修会のあり方も検討していきたいと思ひますが、今後も研修会のご講演時間の確保のため、質疑応答の時間をもてないことが考えられます。ご質問がある際には研修会終了後に回収し、講師の先生へ後日回答していただくことで対応したいと思ひます。ご理解いただけますようお願ひします。

評議員会について(チャットより質問等)

○島尻特支：令和7年度の提案割当て本校が二枠入っている。変更していただきたい。

《回答》

●ご指摘ありがとうございます。当該年度の前後で提案枠の交代が可能な支部がないか調整したいと思います。

○中農高支：議題⑥について、中農高支は令和8年度の提案について「キャリア教育・進路指導」で引き受けたいと思います。22ページの九特連の提案割り当て(1部抜粋)には、小中・特支の区別はないのですが、九特連から指定があるのでしょうか。

《回答》

●議題⑥分科会の入れ替えにあたって、特支の部で変更のあった中部農林高支と名護特支ですが、双方で協議し、中部農林高支が「キャリア教育・進路指導」、名護特支が「自立活動」で提案し、九特連提案は名護特支が行うことになりました。総会で再度提案いたします。

また、第1回評議員会資料の22ページ図1の九特連提案割当て(一部抜粋)の表の上の方に小中の部、特支の部で示されており、九特連から指定されていますことご理解いただけますと幸いです。

○令和5年度から7年度まで合わせた指導の発表が大平になっているので、変更して欲しい。

《回答》

●昨年度の評議員会で、令和8年度までの提案割当ては決議されている内容となります。現在各校において教育課程の改訂が行われる中で、各教科等を合わせた指導の実践をしている学校が少なくなってきたことにより、各教科等を合わせた指導を行っている大平に提案枠を交代してもらい提案をお願いした経緯があります。次年度以降、第3分科会(各教科等を合わせた指導)においては、各教科等を合わせた指導だけではなく、教科等横断的な学習や総合学習も含めたテーマにする等、テーマの範囲を広げて対応していく必要があると考えます。この点につきましても、今後の評議員会等で協議していきたいと思えます。

○運営等おつかれさまです。ありがとうございました。毎回研修を計画しなくても、評議員会だけでもいいのではと思います。

《回答》

●評議員会等における研修会は、会員の皆様の特別支援教育の専門性の向上と各学校の情報共有を目的として行っています。また、これまでに、研修会を設定することで市教委や県教委からの旅費等の支弁がしやすいとご意見があったため設定しております。ただ、今回の評議員会・研修会では、内容が多く十分な協議や質疑応答の時間が設けられませんでした。今後、評議員会・研修会の進行方法等を見直しながら充実した会となるよう努めていきたいと思えます。今後も、ご意見いただけますようよろしくお願いします。

研修会について(講師への質問等)

○八幡先生ありがとうございました。沖縄市のとても丁寧な支援と取り組みとても素晴らしいと思いました。1点質問です。学びの場の見直しはなぜ2年以上ですか？根拠等がありましたら教えて下さい。

《回答》

●学びの場の見直しが2年以上という根拠等はありませんが、沖縄市の就学支援は5月中旬から始まるため、措置替え後児童を見取る期間を確保し児童生徒の学びの場を適切に判断するには、複数年あけての見直しが適正であるとし、取り組んでいます。市町村によっても就学支援の始まる時期が異なりますので一概には言えませんが、沖縄市では支援学級に入級して2年以上経過している児童を学びの場の見直しの対象としております。

○大変参考になりました。

○沖縄市の就学支援における取組と課題を知ることができました。ありがとうございます。

○市町村の就学支援委員会の運営も年々厳しいものとなっていると感じています。必要な支援を必要な生徒に届けられるよう、支援担任として、特支コーディネーターとして連携して行きたいです。

○取り組みが充実しており、報告もわかりやすかったです。ありがとうございました。